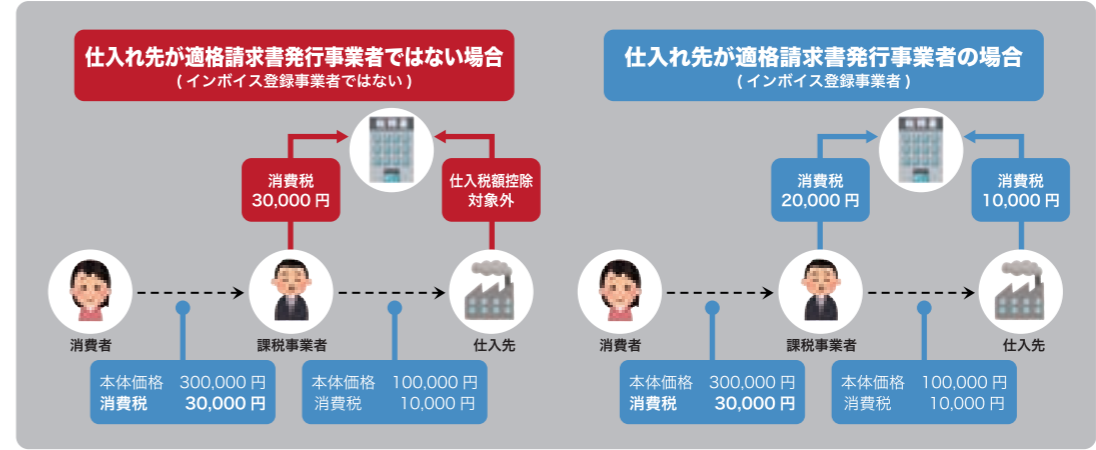


商工会からのお知らせ

法改正情報

「インボイス制度」の導入



令和5年10月1日から「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入されます。適格請求書発行者（登録事業者）のみが適格請求書（インボイス）を交付することができます。年間売上が1,000万円未満の事業者でも、得意先との取引において課税事業者を選択する必要がある場合があります。

※課税事業者が発行する請求書でないこと、得意先は仕入税額控除が出来なくなり。詳しくは国税庁の特設サイトをご確認ください。



超重要になるって聞いたからちゃんと調べないとね。

制度のご案内

経営安定資金（知事指定等貸付）特定業種関連

【エネルギー・原材料価格高騰特例】

埼玉県ではエネルギー・原材料価格高騰の影響に伴う資金需要に対応するため、県独自の支援策として「経営安定資金（知事指定等貸付）特定業種関連【エネルギー・原材料価格高騰特例】」を令和3年12月23日から開始しました。取扱期間は当面の対応措置として。

各種ご案内

【新春研修会並びに新年賀詞交歓会開催】

新春研修会並びに新年賀詞交歓会を開催します。会員の皆様のご参加をお待ちしております。



【青色申告のご相談】

期間：令和5年2月16日～3月15日
場所：吉川市商工会館
★個人の青色申告のみ相談可
「株式・土地・建物、FX、仮想通貨などに関する取引」の相談については直接越谷税務署にお問合せください。
※税務署での事前相談は予約が必要です。
電話：048-965-8111

新年のご挨拶



会長 田村 正夫

新年あけましておめでとうございます。令和5年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様方にはご家族お揃いで、穏やかな新年をお迎えになられたことお喜び申し上げます。

さて昨年は、気候変動による災害、平和秩序の不安、それらの問題が引き起こす円安、物価高、消費動向の変化等大変な1年であり、年末には新型コロナウイルスも第8波と言われました。その中、市民まつりは残念ながら3年連続中止となりましたが、3年ぶりに地区懇談会を新型コロナウイルス感染症に配慮しながら全地域合同の形に変え実施いたしました。また、商業部会ではスクラッチくじ、工業部会では東部工業展、建設業部会では視察研修会、親子ふれあい工作教室、住宅なんでも相談会等を実施。青年部はアルコールの販売禁止、時短等の制約があったものの10年目のジャズナイトを3年ぶりに開催し、女性部は商工会館の花壇を手入れし綺麗な心休まる花が咲くなど、1年間各部会がそれぞれ創意工夫をもって無事に乗り切っていました。今年も各部会がそれぞれ創意工夫が予想されていますが、10月1日よりスタートするインボイス制度や電子帳簿保存への対応が今年の大きな課題になります。経済低迷には、マル経や補助金のさらなる活用等支援の拡充等を図り、より良い年に向けて、会員の皆様と共に残る課題を乗り越えていきたいと思います。コロナ禍の中、変わらぬマスクの使用、消毒の徹底、ティークアウトやデリバリーの拡充、仕事の仕方ではリモートワークの普及とZOOM活用などに努め、穏やかな年にしてほしいものです。今年も会員企業のために関係機関との連携を図り、理事会等においては一人ひとりの意見を大切に受け止め、有意義かつ有益な活動をして、地域経済の発展と中小・小規模事業者の活性化に努めてまいります。

結びに、新しい年が皆様にとりまして輝きと飛躍に満ちた年となりますことを願いつつ、役員一同一丸となって「元氣な吉川市商工会」を目指してまいりますので、会員皆様方のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

吉川市商工会会長 田村 正夫

あどがき

あきんど第5号をお届けします。コロナ禍は3年。コロナと共存しながら経済を回していく世の中となっています。

今年は吉川でも、吉川橋の開通式や吉川美南駅前広場のジャズナイトの3年ぶりの開催など、徐々に明るいイベントも復活してきました。2023年は、どんな年になりますでしょうか？コロナ禍から復活をはたし、日常を取り戻し、よりいっそう吉川市商工会が盛り上がることを強く期待しております。

また、コロナ禍の緊急事態の中、吉川市商工会の絆を有効に活用して助け合ったり、新しい商売が生まれたりといたったことも多々あったと思います。

私どもの企画委員会は、この会報を通して吉川市商工会をもっと身近に感じていただき、元気な「吉川あきんど」をご紹介します、盛り上げて行けたらと思っております。

（理事 増田 泰彦）



部会長あいさつ



商業部会 部会長 小林 政夫

コロナ禍、ウクライナ侵攻に物価高騰等、商業を取り巻く環境は厳しいものがあります。しかし我が商業部会は若いメンバーが多くマルシェ、ラッピカード会、一店逸品、なまず特販会、スクラッチカード、あきんど祭り等多くの企画、アイデアがありこれを更に充実させるの苦難を乗り越え各個店が繁盛し元氣になればと考えております。



建設業部会 部会長 田口 政博

建設業部会長の田口政博です。昭和二十四年生まれ。七十二才。どこから見てもジジイだが現役。どこへ行くのもたたくさんの工具類をのつけたダイハツハイゼットカーゴ。全く便利な車。部会には八十代の先輩も多数。ゴルフもやる。相談会も開催。楽しい研修旅行。いつでも入会可。入金ナン。



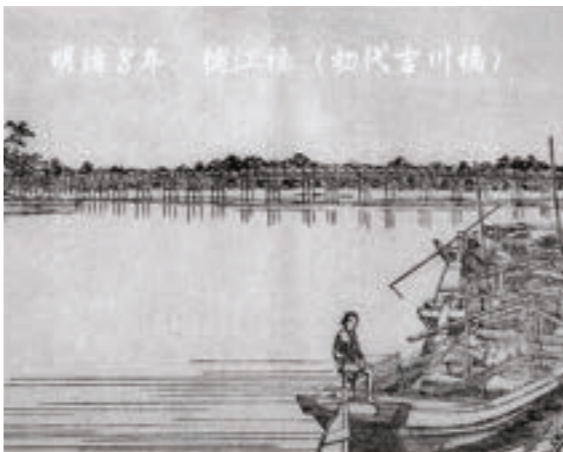
工業部会 部会長 恒川 博

工業部会長の恒川です。材料、電気、原油など仕事や生活に影響する物が次々値上げしている現状に頭を悩ませています。部会員の皆さんと情報など共有し、頑張っていきます。来年2月に埼玉スーパーアリーナで開催される東部工業展にも吉川より数社出展予定です。ぜひご来場ください。

吉川橋今昔①

徳江橋と 呼ばれていた頃

舟運の盛んであった時代、下妻道の平沼村から古利根川右岸の八条領南百村への渡し場（通称吉川の渡し場）に吉川村の豪商山崎忠次郎（後に徳江と改姓）が私財を投じて橋の建設を計画し、明治八年、木製の橋を完成させた。長さ百五十三メートル、幅四、三メートルで、工事費は約四千元と伝えられている。



七厘五毛、人力車九厘であった。現在の金額だと一厘が二十円から三十円ほどだと思われる。期間は十一年間とされていたが、洪水などで橋が壊れて改修を何度も繰り返した。明治三十八年まで延長された。この橋も大正六年、公共事業として、木製の橋から土橋へ改築された。土橋とは、基本的には木製の橋だが丸太を隙間なく並べて橋面を作り、そこに土を敷いて踏み固め、平らにしたものである。この時橋の名称は古利根橋と改名された。この架橋により、平沼を中心に吉川はさらに発展していく。大正八年に撮られた古利根橋の写真には荒縄を満載したトラックが写っているが、いすゞ自動車初期のトラックを作ったのが大正十二年から十三年だから、このトラックはフォード製かもしれない。いずれにしてもこの時代から吉川は縄工品製造を中心に栄えていくのだ。その間吉川村は吉川町になっている。大正四年のことだ。その後、昭和八年にコンクリート製の近代的な橋に架け替えられた。構造もデザインも素晴らしいものだった。橋長百五十六メートル、幅員六・一メートルの永久橋、工費は四万四千元だった。この橋も何度も改修され、人や自転車が通れる別の橋を南側に作ったり、重量制限をしたりしてきたが、八十余年の時を経て痛みが激しくなり、架け替えの要求が出るようになってきた。しかし、南側に吉越橋が完成した時、この吉川橋はいずれは解体される運命にあったのだ。その吉川橋が何故架け替えられたのか。それは次号で。

（理事 田口 政博）

ゼロからイチを創る強さ

（有）ボーダック 太田社長に聞く

有限会社ボーダックは産業用ドローンの設計や開発をしている会社です。

社長の太田氏は、建設系のコンサルティング会社で働いていましたが、趣味と実益を兼ねたラジコンショップをネット販売と秋葉原の実店舗にて開業し、今から約12年前、秋葉原の実店舗を閉鎖して吉川市に移転してきました。

現在の店舗でも、その当時から扱っていたラジコン関係の商品やパーツを数多く販売されており、一見すると一般販売向け中心の店舗のように見受けられます。しかし、店舗は表通りか

ら一本中に入ったところで営業しています。その理由を聞くと、表通りに店を構えるのが冷やかしのお客さんが多くなり、制作の仕事に没頭することが出来ない為、あえて奥まったところで販売をしているそうです。

ラジコンショップとして開業したボーダックが、なぜ産業用ドローンの設計や開発をするようになったのかお聞きすると、サラリーマン時代に国土交通省の関連施設に出向した際のつながりで、橋梁やダムなどの点検のためのオリジナルラジコン製作依頼から始まったそうです。そこから発展し現在ではもっと操作性の安定しているドローンの開発に変化してきたそうです。



積極的に補助金を活用している太田社長（右）

大手メーカーが開発や研究をしてそうなイメージのダムや橋梁点検用のドローンが、なぜ町の片隅のラジコンショップで作られているのか、その答えは大手メーカーでは出来ない、用途に合わせた完全オリジナルのドローンを製作することが出来るからでした。それぞれの場所に適したサイズや用途に合わせたドローンを試行錯誤しながら作り出す。しかし、それは大量には必要とされない。そこに太田社長の趣味と実益を兼ねた事業がマッチングしたのです。

YOSHIKAWA JAZZ NIGHT

三年ぶりのジャズナイト

三年ぶりの吉川ジャズナイトを十一月五日に開催することが出来ました。商工会員の皆様におかれましては、今年も変わらぬご協力とご理解を賜り本当にありがとうございます。当日は大きなトラブルも無く、大盛況のうちに終わることが出来たことをご報告させていただきます。

今年「感謝 つなぐ 未来」と題し、十周年スピノフ企画として開催致しました。

当日は天気にも恵まれ、スタートからサプライズで登場の市内高校生による天才的なカッコよさのダンスが少し肌寒い会場を盛り上げてくれ、吹奏楽部とビッグバンドの演奏時には客席も満席となり大満足のステージとなりました。飲食ブースも売り切れ続出で予想以上の大盛況。イオンタウンさんや吉川美南駅さんとの初のコラボ企画なども大人気でした。吉川美南駅開業十周年とジャズナイト開催十周年を共に祝う形で行ったぬり絵企画では二百名近くの子どもの作品が集まり、吉川美南駅構内に十一月末まで展示していただきました。地域とも良い形で繋がることができ、これからの青年部活動もより幅広くなるのではないかと期待しています。盛り上がりつつある会場を目にして、本当に青年部の存在意義はここにあると肌で感じる事が出来ました。

開催日前に話をさかのぼると、例年準備が非常に大変なジャズナイトですが、今年以前とは違った大変さがありました。コロナ禍とはいえ、このまま何もなくてもよいのか、誰かがやらなきゃ何もしないんじゃないか。多少のリスクを負ってでも、先陣を切って地域の活性化の為にやるのが青年部なんじゃない

か。そんな思いがあり、やり切つてやる」と強気でスタートした今年のジャズナイトでしたが、準備期間中もなかなか集まりにくい日々が続く、スムーズに事が進まない状況の中でどうにか当日までこぎつけました。開催すると決めてからも青年部内や社会的な立場の違いにより生じるイベント開催に関する考え方や、捉え方の違いを理解しあいながら進めて行くことの必要性を強く感じていました。が、それでも何度も意見がぶつかり、ぎくしゃくしたことも。しかし、本気でぶつかり合い、深い所まで多くの議論を交わしたからこそ結果的には良いものが出た。来上がり、より多くの感謝が生まれ、より多くの想いを多方面につなげることができたと感じています。

今回の経験を活かし、地域振興の原動力となるように今後も元気に活動してまいります。ありがとうございました。

（実行委員長 互 賢一）



ひとつひとつ丁寧に説明してくれました

現在はさらに増える受注に対応する為に、事業再構築補助金にて樹脂を使った3Dプリンターを複数台購入し、クライアントの要望にスピード感を持って対応できる体制を作りました。「バカなものを作りたい」と笑いながら話す太田社長。自分にしかできないという自信と誇りも合わせて感じることが出来ました。（理事 石井 和也）

（有）ボーダック

代表 太田 宝得
吉川市道庭 1-11-3
048-984-4256
<https://boduk.net/>

吉川市よりお知らせ

市では、原油等の価格高騰に対する支援として市内事業者等を対象に「原油等価格高騰対策支援金」の申請受付を行っています。

支援内容

- ① 貨物自動車運送業者への支援
事業用自動車の所有台数に応じて最大20万円支給
- ② その他商工業者への支援
経費額の前年比較での差額に応じて最大10万円支給
- ③ 農業者への支援
経費額の前年比較での差額に応じて最大10万円支給

受付期間

令和4年12月14日（水）～
令和5年2月10日（金）まで

※予算上限に達するなど、事前の予告なく受付を終了する場合があります。申請要領・様式等は、市HPからダウンロードいただけます。

- ① 貨物自動車運送業者への支援
- ② その他商工業者への支援



③ 農業者への支援



問い合わせ先・申請窓口 吉川市役所
〒342-8501 吉川市きよみ野1-1

- ① ② 商工課 商工観光係
TEL: 048-982-9697 (直通)
FAX: 048-981-5392 (代表)
- ③ 農政課 農政係
TEL: 048-982-9482 (直通)
FAX: 048-981-5392 (代表)